

②小中学校施設の安全対策について

●学校施設の老朽化状況

学校施設のうち、校舎、体育館・武道場、給食室に使用する建物について、建築からの経過年数状況です。老朽化した建物が増えており、随時大規模改造等を施しているものの、修繕が必要な箇所が発生頻度は増加傾向にあります。

また、国の方針として、公共施設は建て替えではなく長寿命化改修を行うことで全体的な費用を抑える方向性が示されています。

区分	10年未満	11～20年	21～30年	31～40年	41年以上
小学校	12.2%	6.1%	40.8%	22.4%	18.4%
中学校	2.9%	11.8%	35.3%	32.4%	17.6%

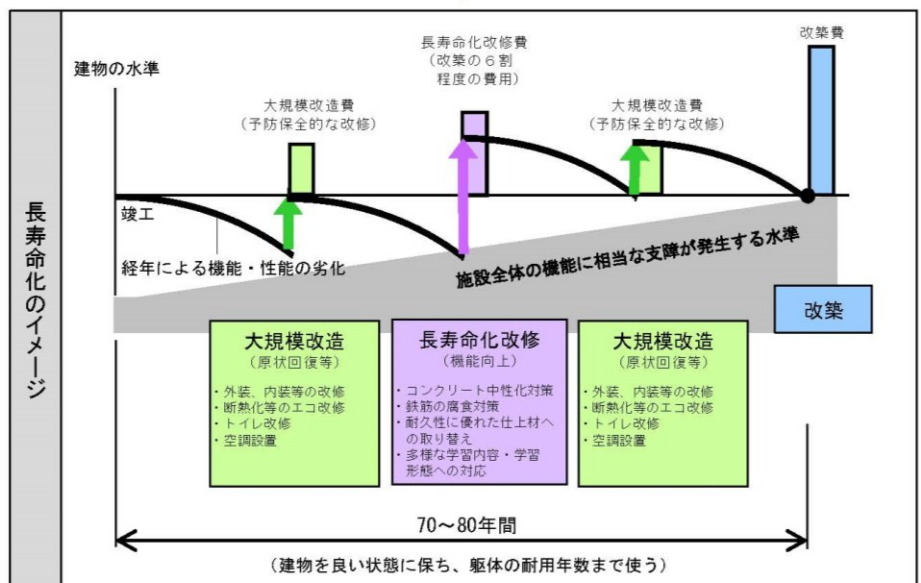
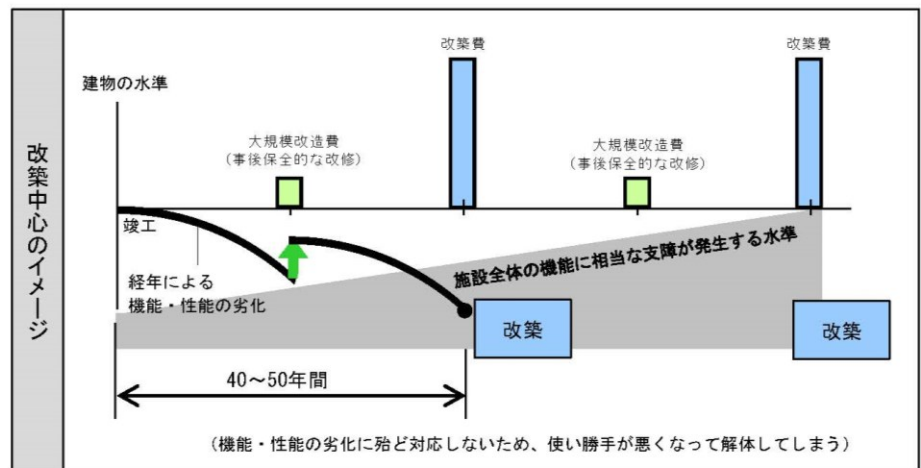
※老朽化した建物が増えてきています。

●学校施設の

耐震化状況

小中学校建物の耐震診断の結果、補強が必要と判定された建物の耐震化工事は、平成27年度までに事業完了しています。旧久喜宮小学校の2棟及び旧志波小学校の2棟が未耐震となっていました。平成30年4月の統合による不使用化によって耐震化率100%となっています。

改築中心から長寿命化への転換イメージ



●学校施設のブロック塀緊急安全点検状況

大阪北部地震による痛ましいブロック塀倒壊事故を受け、市内小中学校のブロック塀について緊急安全点検を実施しました。点検で問題が確認されたブロック塀について、安全対策工事を実施致します。

区分	ブロック塀がある学校	うち、高さ等に問題がある学校	隣地のブロック塀に問題がある学校	ブロック塀以外で対策が必要と思われる学校
小学校	2	2	1	2
中学校	0	0	1	2

ブロック塀の高さを下げる、金網フェンスに替える等の対策予定。

児童生徒への注意喚起並びに、所有者に安全対策の要請を行った。

追加で安全対策実施を検討中。



【三奈木小学校】
高さ1.3m 控壁なし



【金川小学校】
石柱傾きあり
立入禁止



【朝倉東小学校】
高さ2.3m 控壁なし



【三奈木小学校】
卒業記念傾きあり



【甘木中学校】
コンクリート壁・老朽化



【秋月中学校】
木製フェンス破損

●小学校遊具の安全点検状況

市内小学校では、日常点検とは別に年2回以上の遊具の安全点検を実施していますが、専門業者による定期点検は実施できていない状況にあります。

都市公園においては、「都市公園における遊具の安全確認に関する指針」(国土交通省)により専門業者による年1回以上の精密点検が示されています。小学校遊具についてもこれに準じた点検の実施が望ましいものの予算化出来ておりません。また、修繕予算の確保も十分とは言えず、危険なものから優先順位をつけて修繕を行っている現状です。

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
専門業者の点検	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×
修繕予算(万円)	150	0	350	150	150	150	150	150	0	50

※実際には建物施設の修繕費にて対応しています。

過去に設置された遊具が現在の基準に合わず、危険性があるため修繕できずに撤去となるケースや、新設設置が文部科学省の国庫補助対象となっていないため財政的負担も大きいなどの理由で最低限の設置にとどまるなど、遊具そのものの数も減ってきています。

●学校施設の防犯対策状況

すべての学校施設について、警備会社に委託し機械警備・夜間巡回警備を実施しています。しかし、ほとんどの学校が複数の箇所から校地に入出入りでき、また保護者も含め多くの関係者が日常的に入出入りするため、不審者の侵入を想定した場合の対策が難しいのが現状です。

不審者対策としては各学校に「さすまた」を配備し、防犯訓練等を実施しています。

今後は、防犯カメラの設置を検討していきたいと考えています。

●その他

平成26～28年度事業として、小中学校の普通教室に空調設備を設置しました。しかし、空調の整備されていない理科室等の特別教室との行き来により、温度差から体調を崩す児童・生徒もいるとの報告もあり、児童・生徒の健康管理という面で、特別教室の空調整備が新たな課題となっています。